

認定番号：155 サポーター名：サントリープロダクツ株式会社天然水奥大山ブナの森工場

▶実施内容の分類：（7） その他、流域治水の優良な活動についての周知など流域治水に資すると国土交通省が認める取組

取組実績

サントリー天然水の森活動

サントリー「天然水の森」活動では徹底的に森の調査を行い、それぞれの森に適した保全を行います。常緑樹を伐採し光環境を改善することで、落葉樹林に特有な下層植生の育成を図る。

サントリーでは国内グループ会社従業員約7,000名を対象に森林整備研修も行っています。

サントリー「天然水の森」活動は、現在15都府県22ヵ所、総面積約12,000haまで拡大。

AWSプラチナム認証取得

AWS認証とは、「流域全体」の視点で、行政や地域と共に取り組む責任ある水資源管理

（ウォーター stewardship）の国際認証であり、社会的・文化的に公平で、環境的にも持続可能で、経済的にも有益な流域での水利用を目指す認証規格。

SPD奥大山ブナの森工場は2018年に日本初となるAWS認証を取得し、25年に認証最高位にあたるプラチナム認証を取得。

今後も認証取得にとどまらず地域の流域全体での水資源管理活動に取り組んでいく。

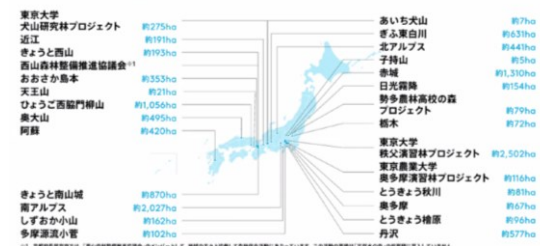
実施内容から該当する項目を記載

<天然水の森>整備目標

- ① 水源涵養林としての高い機能を持った森林
- ② 生物多様性に富んだ森林
- ③ 洪水・土砂災害などに強い森林
- ④ CO₂吸収力の高い森林
- ⑤ 豊かな自然と触れあえる美しい森林

全国16都府県26ヵ所（2024年8月時点）

約12,000ha



認定番号：155 サポーター名：サントリープロダクツ株式会社天然水奥大山ブナの森工場

▶実施内容の分類：（7） その他、流域治水の優良な活動についての周知など流域治水に資すると国土交通省が認める取組

取組
実績

流域治水シンポジウムひろしま 2025

広島県主催「流域治水シンポジウム」に参加。
頻発化する水災害に対応するため「流域治水」を県のみならず
住民・企業とともに理解を深めることが重要であり、
サントリーの天然水の森活動における水源涵養は流域における
雨水を地面蓄えることに繋がっている。
シンポジウムにおいては防災士や大学教授、小学校教員など
様々なバックグラウンドの参加者様と共に意見交換を実施できた。



地下水利用協議会_森林保全活動

「とっとり花回廊」周辺の「HINOKAMIの森」にて
地下水利用協議会主催の森林保全活動に参加。
森の木々の枝払いなどの森林保全活動に参加した。
また、参加団体の皆様と地域の森の水源涵養活動、
流域治水について意見交換する良い機会となった。

